

桜山小が褒状授与 絶滅危惧種飼育を評価

(東松山市)

幼虫に餌やりをする当番児童



校内で絶滅危惧種のトウキョウサンショウウオを飼育している。担当するのは4年生。当番の児童は登校するとすぐ水槽の水の交換や幼虫への餌やりなどを行う。幼虫はある程度大きくなったら同公園内動を譲る褒状が授与された。

桜山小は令和3年度から、校区内にある埼玉県動物自然公園内のトウキョウサンショウウオの卵を採り、校内でふ化させ、幼虫を育てる活動をしている。高橋楓君は「繊細な生き物なので大切に扱うよう、みんなで注意しています。みんなも大切に育てているので、それが評価された。うれしい。これからも餌やりなどをがんばりたい」と話していた。



大輪の